

CHECK 1 POINT

規格を確認する。

ヘルメットの内側に貼られる規格ラベルは、安全性を選択する基本です。JIS規格に適合しているものであれば、問題はないでしょうが、自分の値打ちを考えるなら、スネル規格に適合しているものを選ぶことです。スネル規格は、アメリカのスネル記念財団が制定する規格で、衝撃吸収性能、対貫通性能共に、JIS規格よりも、遥かに厳しい基準で定められ、より多くの危険から身を守るように設計されたヘルメットのみに表示を許される規格なのです。



ヘルメット内側に貼られているスネル規格品のラベル

ヘルメット選びのポイントには、スタイルカラー、フィット感、ベンチレーションなど、数多くありますが、最も大切なポイントのひとつが安全性です。ところが、ヘルメットの安全性は、他の特徴と異なり、ユーザー自身が確認して選ぶことが難しいものです。そこで、安全性の高いヘルメットを選ぶポイントをご紹介します。

CHECK 2 POINT

ヘリの部分の剛性

ヘルメットの規格試験は、比較的頭部上方にある、試験範囲において行われますが、実際の転倒例では、試験範囲以外の下部に衝撃を受ける事例が多くあります。しかしこの試験範囲より下の部分が、どう作られているかは、規格だけでは見えません。ヘルメットの裾の部分の両側から押して、変形量確かめて下さい。剛性の高い、変形量の少ないものの方が、しっかり出ています。

CHECK 3 POINT

ヘリ部分のライナーの厚み

ヘルメットは、帽体とライナーの組み合わせで、衝撃を吸収します。特に首の後ろに当たる部分は、後頭部を打ったとき、衝撃を和らげるため重要な部分です。この部分の厚みがしっかりあるか確かめて下さい。



CHECK 4 POINT

ライナーをそっと押してみる。

内側のライナーを、そっと押してみます。ライナーが柔らかいものの方が、衝撃吸収性が高く、帽体もしっかりと作られています。

以上、4つのポイントを紹介しましたが、安全性の基本は規格です。上記の中でも2、3、4のポイントは、同一規格の中でのチェックポイントとなります。

特にヘルメットの重量を確認する際には、軽さだけで選ばず、必ずその規格を確認して下さい。軽くて安全性の高いものを選ぶならば、スネル、JIS両方表示してあることを確認して、その中から軽いものを選ぶことです。